『新年のご挨拶』

直前理事長　長瀬　雄一郎

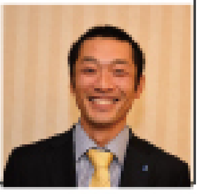
新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。昨年度は、皆様に大変なご厚意を頂きまして誠に有難うございます。本年は直前理事長として、笹川理事長を支えて参ります。

二〇二一年は、これまでの価値観を見直し、新たな出発の年となることと思います。昨年は、流行病の為、混乱と戸惑いの多い年でしたが、その中で培われた力を本年は存分に活かし、飛躍をするであろうと期待をしています。昭島青年経営者クラブは五十七年続く若手経営者団体です。多摩の昭島に生まれ承継されてきたことには理由があります。歴史ある当クラブの理事の一人として気を引き締めて、一路邁進して参りたいと思っております。

本年度は笹川理事長の掲げるスローガン「逆境を力に」を胸に全力で活動して参ります。結びになりますが、本年も変わらぬご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げ年初のご挨拶とさせて頂きます。

『新年のご挨拶』

副理事長　相羽　吉春



私が入会したのは二〇一七年の夏でした。その当時、最初に教わった事は「AI」は失敗しても直接的には本業に損失を出さない。自分を試せる最高な場所だ。だからこそ、どんどんチャレンジしな！」という言葉でした。そのような言葉を鵜呑みにした私は、様々な失態も重ねながらも、現役会員、卒業していった先輩方や、各例会などでお会いする度に色々と教えて下さる先輩方からAI」でなければ味わう事の出来ないような様々な事を学ばせて頂きました。今年の役割は今年しか出来ません。かわら版を担当すればパソコン力も向上し、例会を作れば達成感と自信が付きます。今年度は昨年から続く、まさに逆境の時期だと思います。このような時こそ、五七年続く当会を存分に利用させていただき新たなるチャレンジと経験を積み、笹川理事長の下、皆でこの逆境を力に出来るようにAI」を通じそれぞれの立場で夢中になり、失敗を恐れず逆境に打ち勝つ礎を手に入れる一年としましょう。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

『新年のご挨拶』

副理事長　星野　智

新年あけましておめでとうございます。令和三年度の新年を迎えるのにあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に、皆様の益々のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

本年度副理事長を務めさせて頂きます星野です。今年も昨年度と同様に広報室会を担当させて頂きます。いよいよ笹川理事長の元二〇二一年度体制もスタートとなります。

昨年度に引き続きの副理事長という大役を仰せつかり、身が引き締まる思いで一杯です。昨年度はコロナ禍の影響で思うような活動が出来ませんでした。新型コロナの影響はいまだ留まるところを知らず、やや拡大しているような状況にあります。同じ場所に長時間、大勢で集まることが難しい状況下ではありますが、新年度のスローガンである「逆境を力に」の旗印のもと室員一丸となって事業の成功に向かって取組めるよう邁進していく所存です。

また鈴木室長、服部編集長をサポートし、例年とは違ったかわら版を皆様の元へ、一年間お届けできるようにサポートさせて頂きます。皆様のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

『新年あいさつ』

専務理事　青木　隆一

新年あけましておめでとう御座います。今年度の専務理事を務めます青木です、どうぞよろしくお願い申し上げます。昨年の次年度理事長発表のすぐに笹川理事長からお声を掛けて頂き、私には無理だと逃げておりましたが遂に追い込まれ腹を決める事となりました。過去のかわら版を読んで専務理事の仕事が大変な事は知っておりましたが、まさかここまでとは・・・ですが今年のスローガンにもあります「逆境を力に」のもと、コロナとAI」のダブルパンチに負けずこれを機に新規事業の柱をAI」で作り上げる勢いで頑張ってまいります。コロナの影響で売り上げがガタ落ちとなった恩恵の持続化給付金をウェブ開催の併用を考えて機材の購入に充てました。今年は背水の陣で臨みますので、楽しみにお待ちください。そして皆さまが例会を楽しみに待っていただけるように裏方からお手伝いをさせて頂きますので、至らぬ点が多々ございますがその際はご指導のほど、お願い申し上げます。